

産業厚生常任委員会 資料

平成26年12月3日

福祉部 高齢介護課

目 次

1. 加東市高齢者保健福祉計画・

第6期介護保険事業計画の中間報告について・・・(1～8 P)

(資料)

加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）のアンケート調査結果・・・(1～36 P)

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画の中間報告について

1 計画策定に向けたこれまでの経過

日 程	内 容		
第1回策定委員会 平成25年10月30日	協議事項	加東市の現状および加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要について	・加東市の高齢者人口、介護認定者、介護給付費の推移 ・計画および策定委員会の位置づけ ・策定におけるスケジュール ・高齢者施策の方向性について
		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画見直しのためのアンケート調査	計画に伴う住民アンケート素案を協議（承認）
第2回策定委員会 平成25年12月6日	協議事項	介護予防と生活支援について	・主な事業内容 ・効果的な事業の実施について ・他市の取組事例の紹介 ・加東市の取組事例の報告
		計画に伴う団体ヒアリングについて	計画に伴う団体ヒアリングの方法および内容について協議（承認）
第3回策定委員会 平成26年7月29日	協議事項	アンケートおよび団体ヒアリングの結果について	・加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）アンケート調査結果について ・各種団体ヒアリング結果について
		国・県の動向および計画の方向性について	・介護保険制度の改正案について（平成26年2月厚生労働省老健局資料） ・第6期（H27～29）介護保険事業計画における地域密着型サービスの整備計画について ・地域包括ケアシステムについて ・高齢者の介護予防を推進するためのプロセス図 ・将来人口の推計について
第4回策定委員会 平成26年10月17日	協議事項	国・県の動向について	国・県の動向について（平成26年2月・7月厚生労働省老健局資料抜粋）
		計画の骨子（案）について	加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画骨子案（平成26年10月）
		加東市における地域支援事業について	・加東市の新しい総合事業への移行 ・加東市地域包括支援センター事業 ・加東市の地域ケア会議の概念図 ・加東市認知症ケアパス

2 策定にかかる今後のスケジュールについて

予定月	内 容
平成 26 年 12 月 15 日	第 5 回計画策定委員会 (計画素案)
12 月～1 月	パブリックコメント実施 (計画案概要 (保険料額除く。))
1 月	第 6 回計画策定委員会 (パブリックコメント結果報告、保険料額決定、計画案決定)
2 月	市長に答申
3 月	議会にて承認 (計画および保険料決定)

3 平成 27 年度介護保険制度改正の主な内容

1) 地域包括ケアシステムの構築

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、介護、医療、生活支援、介護予防を充実

- (1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の充実 (在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実・強化)
- (2) 予防給付 (訪問介護・通所介護) を市町村が取り組む地域支援事業に移行し、サービスを多様化
- (3) 特別養護老人ホームの新規入所者を、原則、要介護 3 以上に限定

2) 費用負担の公平化

保険料上昇を可能な限り抑えつつ、制度の持続可能性を高めるため、世帯非課税低所得者の保険料軽減の拡充や、所得や資産のある人の利用者負担を見直す。

- (1) 世帯非課税低所得者の保険料の軽減割合を拡大
- (2) 一定以上の所得のある第 1 号被保険者の利用者負担の引上げ
- (3) 低所得の施設利用者における食費・居住費を補助する「補足給付」の要件に資産基準などを追加

地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される体制

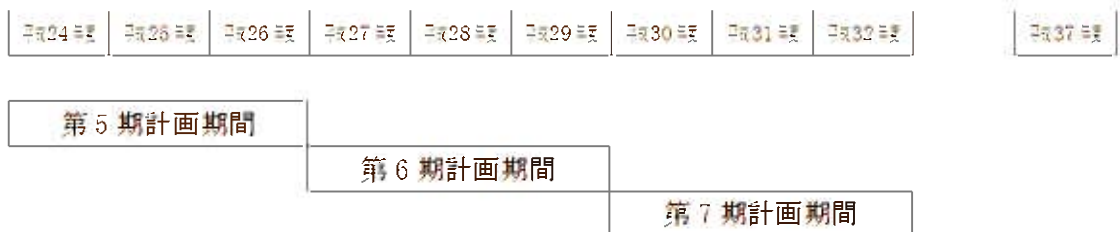
4 加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険計画事業計画（案）について

1. 計画策定の背景と趣旨について

わが国は、総人口が減少を続ける一方で、平成24年には団塊の世代が65歳になり始めたことから高齢者人口が大幅に増加しています。

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムを構築し、「いつまでも住み慣れた地域で生活が継続できるまち」を築いていく必要があります。

このようなことから本市では、高齢者に関する保健、福祉施策と介護保険施策を密接な連携のもと、総合的、体系的に実施していくため、高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体的に策定します。



2. 高齢者を取りまく現状

1) 加東市の高齢者人口

加東市の高齢者（65歳以上）人口は、平成26年には9,761人、高齢化率24.5%となっています。今後も高齢化は進行し、平成29年には、10,192人（25.8%）、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には10,632人（28.0%）に達するものと見込まれます。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成37年
総人口	40,179	40,063	39,816	39,702	39,582	39,441	37,951
高齢者人口 （65歳以上） 〈指数〉	9,080 〈100.0〉	9,410 〈103.6〉	9,761 〈107.5〉	9,902 〈109.1〉	10,077 〈111.0〉	10,192 〈112.2〉	10,632 〈117.1〉
高齢化率	22.6%	23.5%	24.5%	24.9%	25.5%	25.8%	28.0%

（各年9月末日現在住民基本台帳実績値及び見込値）

2) 要介護認定者数

高齢化に伴い、要介護認定者数も増え続けますが、認定者率（第1号被保険者に対する認定者の割合）は、ほぼ横ばい状態が見込まれ、認定者の伸びが高齢者数の伸びをやや下回っています。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成37年
要介護認定者数 (指数)	1,713 (100.0)	1,677 (97.9)	1,675 (97.8)	1,709 (99.8)	1,723 (100.4)	1,754 (102.4)	1,971 (115.1)
要支援1	134	101	108	112	112	114	127
要支援2	208	198	179	183	185	187	211
要介護1	325	313	342	348	351	357	400
要介護2	366	392	355	361	365	371	419
要介護3	271	253	273	278	280	286	323
要介護4	235	241	251	256	258	263	296
要介護5	174	179	167	171	172	176	195
認定率	18.9%	17.8%	17.2%	17.3%	17.1%	17.2%	19.3%

(各年9月末日現在実績値及び見込値)

3) 高齢者の現状

加東市内の高齢者は、9,761人であり、そのうち8,086人(82.8%)の方は要介護認定を受けずに生活されています。一方、1,675人(17.2%)の方は要介護認定者で、そのうち約93%の方は何らかのサービスを利用されています。

3. 本計画の課題まとめ

1) 本市の現状と課題【アンケート結果】

- ① 通所介護が54.9%と高く、地域支援事業へ移行しても利用意向が高いことが予想されますので、今後、サービスの量、質的な確保ができるかどうかの調整が必要です。
- ② 要介護・要支援認定者の68.4%が、「現在の居住で暮らし続けたい」、9.3%が「特別養護老人ホーム」、4.3%が「軽費老人ホームやケアハウス」と答えています。
また、通院状況をみると通院しているのが78.8%と高く、医療との関わりを必要としており、医療と介護の連携強化は重要な課題です。
- ③ 一般高齢者の外出手段の61.5%は、自分の運転する車と高く、認知症や要介護状態になると、買物や通院が困難になる高齢者も増えることが予想され、高齢者の外出や買物、通院などを支援していくことが課題です。
- ④ 要介護状態となることを予防していくため、転倒予防のための運動器の機能維持や認知症予防に着目した介護予防の推進が必要です。
- ⑤ 認知症に関する支援策として、早期診断する仕組みづくりが求められており、専門医療機関とのネットワークの強化が必要です。
- ⑥ 家族介護者同士の交流の場による精神的なケアが重要です。
- ⑦ 介護の相談相手としてケアマネジャーの対応が重要です。

4. 基本理念等

本計画は、今回の介護保険制度の改正や団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題を捉え、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができる「地域包括ケアシステム」を具現化していくためのスタートとなる計画として位置づけます。そこで計画の基本理念を「地域で支え合い 笑顔かがやく 元気な加東」とし、その実現に向け取組みを進めていきます。

基本理念と地域包括ケアシステムの実現に向け、政策目標を掲げます。

“ 生きがいをもって 安心して住み続けられる地域づくり “

高齢者が持ち得る能力を最大限活かすことができるよう地域に社会参加等の機会をつくります。そうすることで高齢者一人ひとりが役割を持ち、認め合うことができ、それが「生きがい」へと繋がります。

また、可能な限り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域や高齢者を取り巻く関係機関とのネットワークを構築し、医療、介護、予防、住まい、生活支援の各サービスが切れ目なく一体的に提供できるようにします。(地域包括ケアシステムの実現)

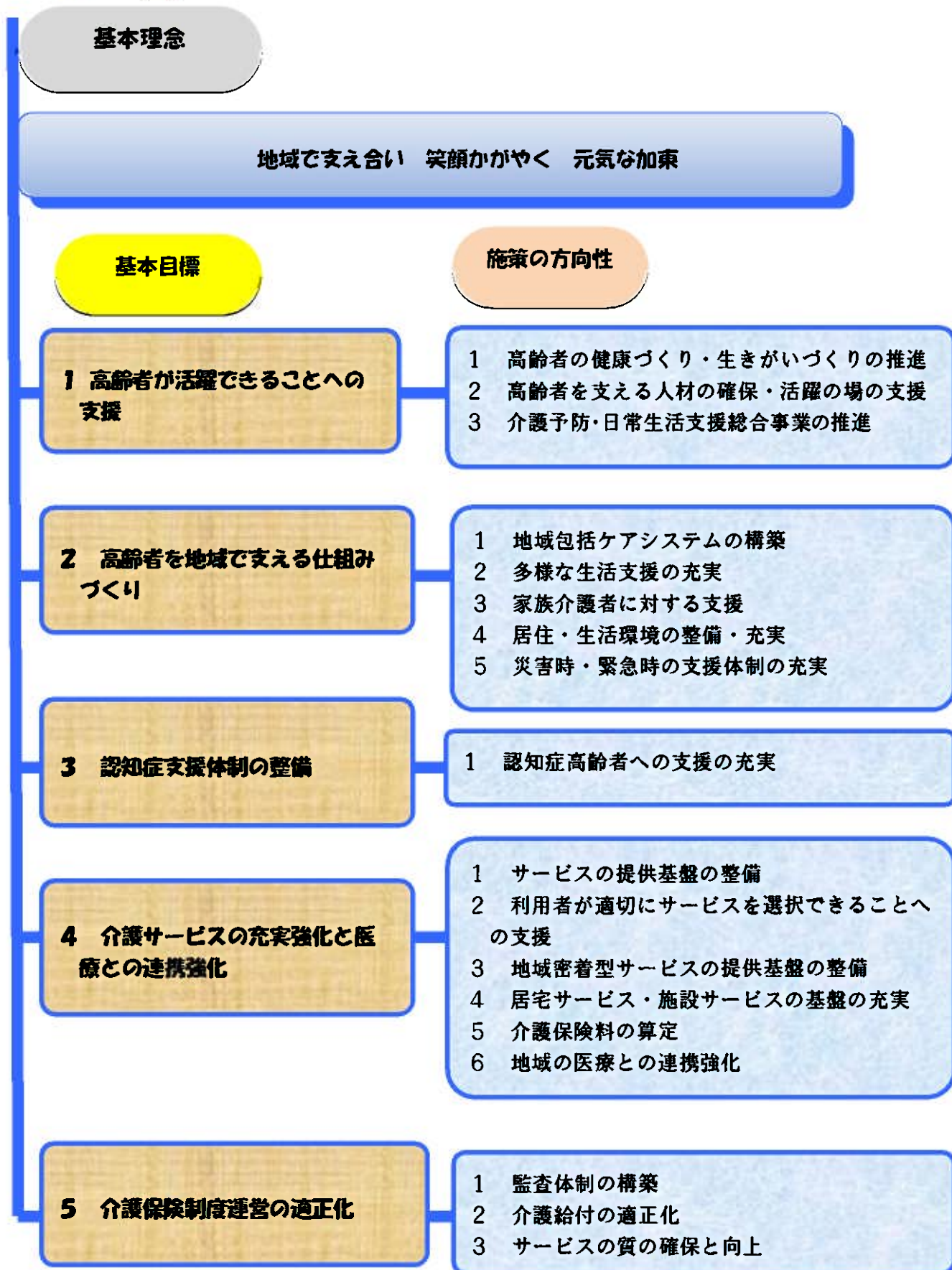
この地域ケアシステムを構築することにより、「安心して住み続けられる地域づくり」の実現をめざします。

そのために、5つの基本目標を設定します。

- ・ 高齢者が活躍できることへの支援
- ・ 高齢者を地域で支える仕組みづくり
- ・ 認知症支援体制の整備
- ・ 介護サービスの充実強化と医療との連携強化
- ・ 介護保険制度運営の適正化

また、地域包括ケアシステムを構築していくために核となる地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、全市的に取り組んでいる地域ケア会議において、個別の事業を積み重ねながら、地域における課題の発見や、課題解決への取り組みの実践、さらには、高齢者施策への反映などにつなげていきます。

5. 施策の体系図



6. 基本目標

1) 高齢者が活躍できることへの支援

- 「自らの健康は自らがつくり守っていく」という意識の醸成にむけ、生活習慣病予防および介護予防により元気な高齢期を過ごすための普及啓発や地域活動の支援を行います。
- 団塊の世代が順次高齢者になるなか、ボランティア活動の促進や生活支援サービスの担い手づくりなど、高齢者の持てる力を活かし、地域活動を支える人材の養成の充実に努めます。
- 介護保険法改正により、予防給付の訪問介護・通所介護が地域支援事業に移行します。円滑な制度移行ができるよう、地域の実情に応じた多様な主体によるサービスを提供する環境等を整備します。
 - ・ 予防給付（訪問介護・通所介護）対象者の現行のサービスの利用状況、身体の実態把握
 - ・ 従来から実施している介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの拡充と新たに利用者の多様な生活支援ニーズに対応した介護予防・日常生活支援総合事業（多様な主体による生活支援サービス）の整備
 - ・ NPO、ボランティア団体、地縁組織など多様な団体が多様な生活支援サービスを提供する体制づくりや住民が担い手となる環境づくり

2) 高齢者を地域で支える仕組みづくり

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した生活の支援が包括的に確保される社会の実現を目指します。
 - ・ 地域包括支援センターの機能強化
 - ・ 生活支援サービスの基盤整備
 - ・ 地域ケア会議の推進
- 高齢者が安心して暮らしていけるよう、介護保険サービスだけでなく、適切な生活支援のためのサービスの充実に図ります。
- 介護に携わる家族介護者の精神的・肉体的負担を軽減するための支援策を推進します。

3) 認知症支援体制の整備

- 認知症になっても本人の意思が尊重され、本人の状態に応じた適切な支援により、できる限りより良い環境の中で暮らし続けられるよう、医療・介護サービスの適切な提供、地域の見守り等も含めた切れ目のない支援体制を構築します。
 - ・ 認知症ケアパスの構築
 - ・ ひとり外出見守り徘徊SOSネットワーク
 - ・ 早期発見・早期支援の普及啓発
 - ・ 認知症地域支援推進員の設置
 - ・ 地域における支援体制の構築

4) 介護サービスの充実強化と医療との連携強化

- 介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、日常生活圏域に均一にサービスの提供を図るため、5期では、特別養護老人ホームの増床、地域密着型サービスの整備に取り組みました。6期においては、利用状況を検証していく中で、在宅生活を継続するために不可欠な「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(1カ所整備)事業や高齢者の見守りサービス(兵庫式LSA)に取り組みます。
- 第6期計画期間の介護サービス見込量等については、第5期計画期間における要介護認定者数や利用者数の伸び、サービスの利用実績や、施設・在宅サービスの施策の方向性等を踏まえて推計します。
- 地域の特徴を踏まえて中長期的な視点で、保険料について推計し、財政の均衡も視野に入れて、第6期計画期間中の適正な保険料を設定します。

5) 介護保険制度運営の適正化

- 介護給付の適正化は、適切な要介護(要支援)認定を行った上で、利用者が真に必要とするサービスを事業者が適切に提供するよう促します。また、介護給付の適正化に取り組み、実施体制の整備など改善に努め、適正化主要5事業(要介護認定の適正化・ケアプランの点検・住宅改修等の点検・医療情報との突合・縦覧点検・介護給付費通知)について、実施方策を示し、内容の充実(点検対象の拡大、実施回数の増加等)に努めます。

加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
（第 6 期）のアンケート調査結果
【 抜 粋 】

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
第2章 基本チェックリスト項目の分析.....	2
1 機能.....	2
2 二次予防対象者.....	4
3 評価項目別の結果.....	20
第3章 調査結果からみる6期計画に向けた課題.....	27
1 在宅生活を支えるサービスや体制の充実.....	27
2 高齢者の生活支援.....	29
3 転倒・認知症予防に着目した介護予防の推進と認知症対策の推進.....	33
4 家族介護者のケアの充実.....	36

第1章 調査の概要

1 調査の目的

加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直すにあたり、市民の保健福祉に関わる生活状況やご意見などをお聞きし、計画づくりの基礎資料とするため、市民意識調査を行いました。

2 調査対象

- ・65歳以上の高齢者のうち要支援、要介護認定を受けていない人
- ・要支援、要介護の認定者

3 調査期間

平成25年11月15日から平成25年12月10日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回収率
一般高齢者	2,000通	1,563通	78.2%
認定者	1,284通	868通	67.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

第2章 基本チェックリスト項目の分析

1 機能

(1) 項目別評価結果

生活機能は、一般高齢者、二次予防対象者、要支援認定者、要介護1,2認定者、要介護3,4,5認定者へと図形が中心に向かって小さくなっていくことから、一般高齢者から要介護3,4,5認定者の順に生活機能が、低下していることがうかがえます。生活機能の各評価項目ごとの非該当者（リスクなし）の割合をみると、一般高齢者においては、全体に非該当者（リスクなし）の割合が高くなっていますが、「認知症」に関しては他の項目に比べ低くなっています。

二次予防対象者においては、一般高齢者と比べると「口腔」、「運動器」に関して非該当者（リスクなし）の割合が約40%と急激に低くなっています。

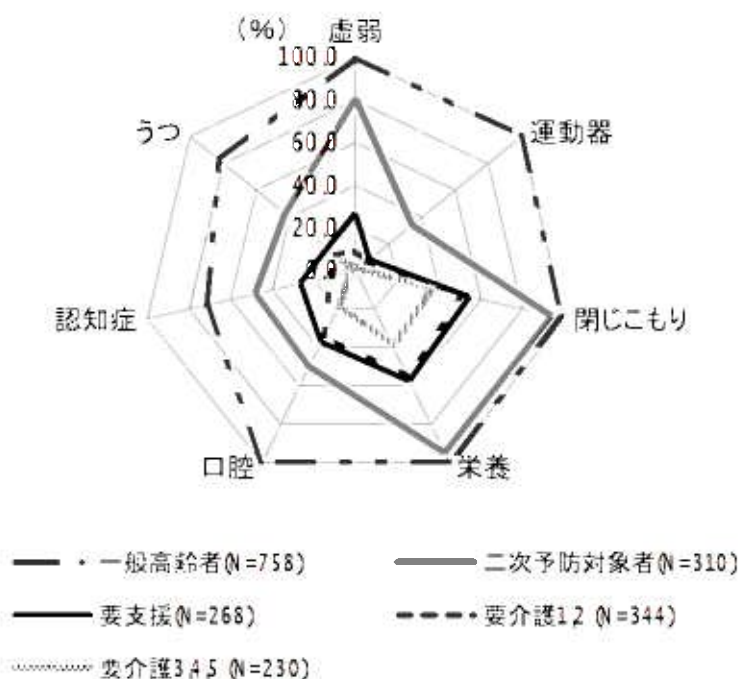
要支援認定者では、「栄養」、「閉じこもり」以外は非該当者（リスクなし）の割合が40%以下となっています。

要介護1,2、要介護3,4,5の認定者では、「運動器」、「認知症」に関して、非該当者（リスクなし）の割合が著しく低くなっています。

※生活機能の各評価項目（基本チェックリストからうつに関連する5問を除いた20問で合計得点を算出）
ごとの非該当者（リスクなし）の割合

※一般高齢者（介護・介助は必要ない高齢者）、二次予防対象者（何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない高齢者）、要支援認定者（現在、認定を受け何らかの介護予防を受けている高齢者）、要介護1,2、要介護3,4,5の認定者（現在、認定を受け何らかの介護を受けている高齢者）

図表 生活機能（非該当・リスクなしの割合）



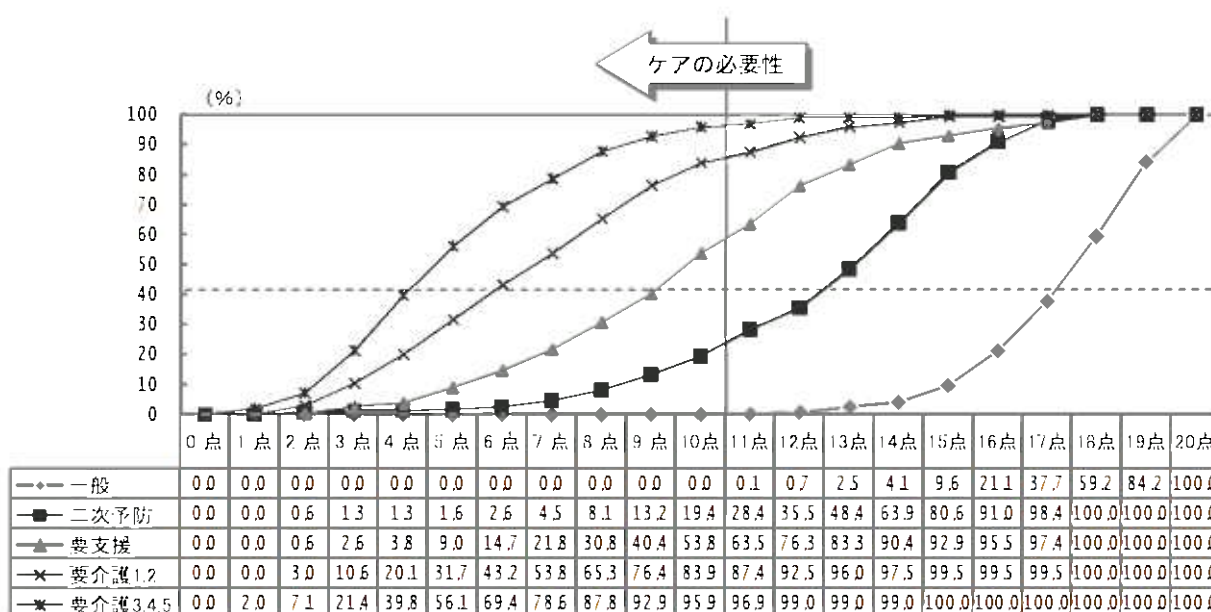
(2) 生活機能・基本チェックリスト合計得点の度数分布、累積相対度数

基本チェックリストのうつに関する5項目を除く20項目について各設問で非該当となる回答をした場合を1点としてその合計得点の累積相対度数分布によると、虚弱と判定される10点を境界としてみると、一般高齢者では、該当者はいませんが、二次予防対象者では約2割、要支援では約5割と倍増しており、要介護1,2認定者、要介護3,4,5認定者では8割以上となっています。

※生活機能評価は、生活の状況や運動器の機能、栄養状況、うつなどに関する25項目が質問内容となっている基本チェックリストによって評価されています。

生活機能・基本チェックリスト合計得点の累積相対度数

図表 基本チェックリスト合計得点の累積相対度数



※累積相対度数分布とは、対象者ごとの基本チェックリストの合計得点について、1点ごとに人数を累計したもので、各合計得点で対象者の何%を占めているかが把握できるグラフで、データがどのような分布をしているか把握するための最も簡便でわかりやすいグラフとされています。累計した人数が対象者数となった時点で100%となります。

2 二次予防対象者

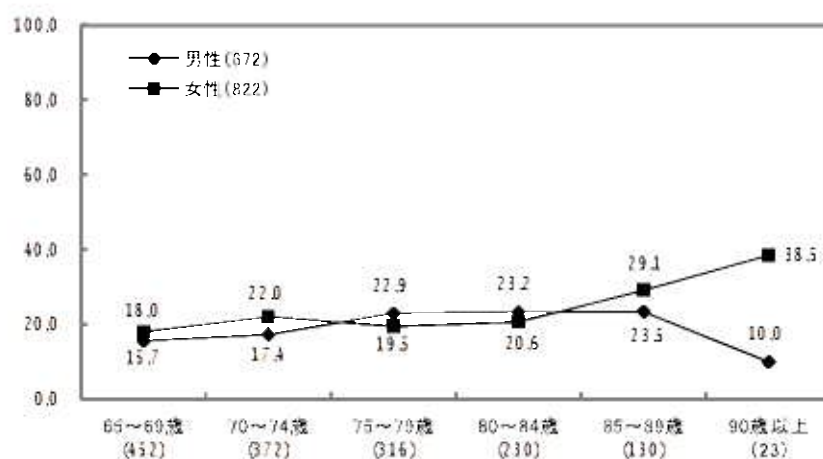
(1) 二次予防対象者の年齢別発生率及び該当者割合

認定者を除く一般高齢者 1,068 人（基本チェックリスト 25 項目すべてに回答があった方のみ）のうち、生活機能低下がみられた二次予防対象者は、310 人で、29.0%の割合となっています。

性別でみると、男性に比べて女性のほうが二次予防対象者になるリスクが高い傾向がみられます。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど二次予防対象者になるリスクが高くなる傾向がみられます。

図表 二次予防対象者の発生率（性・年齢階級別）



- ・小学校区別でみると、東条東で 24.7%と最も高くなっており、次いで滝野東で 23.2%、滝野南で 23.1%となっています。一方、東条西は 13.6%と最も低くなっています。

【小学校区別】



(2) 基本チェックリストのリスク対象者

基本チェックリストの20項目について、生活機能の低下が疑われる項目に該当しない回答を1点として、その合計得点の平均を整理しています。

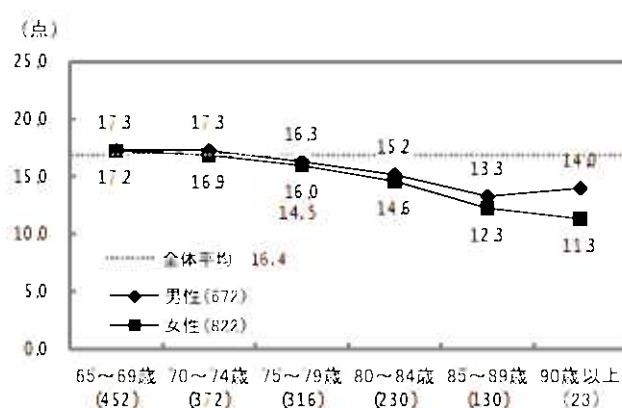
基本チェックリストの合計得点の平均の性・年齢階級別においては、男女とも年齢が上がるほど平均得点が下がっています。

二次予防対象者の抽出もととなった基本チェックリスト項目別のリスク対象者をみると、一般高齢者と大きく回答差が現れた項目として二次予防対象者では「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(いいえ)」、「転倒に対する不安は大きいですか(はい)」「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(はい)」などの項目に該当した人の割合が高くなっています。

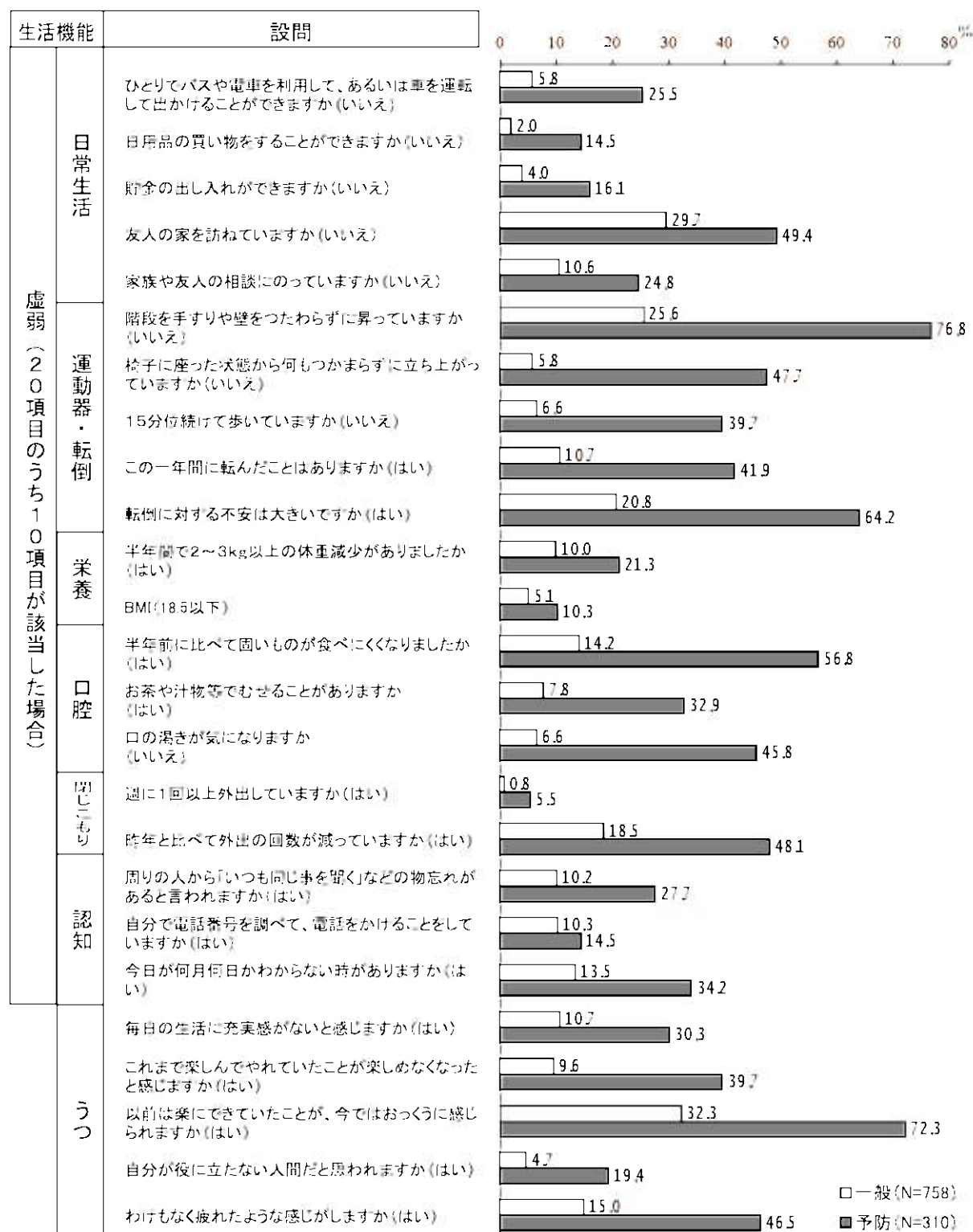
「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(いいえ)」については、鴨川小学校区、東条東小学校区で該当者の割合が高くなっています。

図表 基本チェックリスト平均得点

【性・年齢階級別】



図表 基本チェックリスト項目別のリスク対象者の割合



図表 小学校区別基本チェックリスト項目の回答

1 ひとりでバスや電車を利用して、あるいは車を運転して出かけることができますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	81.9	15.2	2.9
社小学校区	399	81.7	14.0	4.3
福田小学校区	144	81.9	15.3	2.8
米田小学校区	92	72.8	21.7	5.4
三草小学校区	124	84.7	11.3	4.0
鵜川小学校区	37	81.1	16.2	2.7
滝野東小学校区	263	83.7	14.4	1.9
滝野南小学校区	121	85.1	14.0	0.8
東条東小学校区	174	81.0	16.7	2.3
東条西小学校区	177	82.5	16.4	1.1

2 日用品の買い物をすることができますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	90.0	8.4	1.7
社小学校区	399	91.5	6.0	2.5
福田小学校区	144	88.2	11.1	0.7
米田小学校区	92	82.6	15.2	2.2
三草小学校区	124	92.7	6.5	0.8
鵜川小学校区	37	91.9	8.1	-
滝野東小学校区	263	91.3	7.6	1.1
滝野南小学校区	121	87.6	11.6	0.8
東条東小学校区	174	89.7	9.8	0.6
東条西小学校区	177	91.0	6.2	2.8

3 貯金の出し入れができますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	89.5	8.8	1.7
社小学校区	399	90.2	7.0	2.8
福田小学校区	144	84.7	15.3	-
米田小学校区	92	88.0	9.8	2.2
三草小学校区	124	90.3	7.3	2.4
鴨川小学校区	37	89.2	10.8	-
滝野東小学校区	263	90.9	8.4	0.8
滝野南小学校区	121	92.6	5.8	1.7
東条東小学校区	174	89.7	9.2	1.1
東条西小学校区	177	89.3	9.6	1.1

4 友人の家を訪ねていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	59.4	36.9	3.8
社小学校区	399	59.6	35.8	4.5
福田小学校区	144	56.9	40.3	2.8
米田小学校区	92	65.2	30.4	4.3
三草小学校区	124	55.6	40.3	4.0
鴨川小学校区	37	56.8	43.2	-
滝野東小学校区	263	61.2	36.9	1.9
滝野南小学校区	121	66.9	31.4	1.7
東条東小学校区	174	56.9	38.5	4.6
東条西小学校区	177	57.1	38.4	4.5

5 家族や友人の相談にのっていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	78.2	17.1	4.7
社小学校区	399	77.9	17.0	5.0
福田小学校区	144	75.7	17.4	6.9
米田小学校区	92	79.3	15.2	5.4
三草小学校区	124	79.8	16.1	4.0
鴨川小学校区	37	64.9	29.7	5.4
滝野東小学校区	263	82.5	14.4	3.0
滝野南小学校区	121	77.7	18.2	4.1
東条東小学校区	174	77.0	19.0	4.0
東条西小学校区	177	76.8	18.6	4.5

6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	52.5	41.6	6.0
社小学校区	399	54.9	38.8	6.3
福田小学校区	144	54.2	38.9	6.9
米田小学校区	92	52.2	43.5	4.3
三草小学校区	124	50.8	40.3	8.9
鴨川小学校区	37	43.2	54.1	2.7
滝野東小学校区	263	54.0	41.1	4.9
滝野南小学校区	121	53.7	41.3	5.0
東条東小学校区	174	44.8	50.6	4.6
東条西小学校区	177	55.9	39.0	5.1

7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	74.3	20.4	5.2
社小学校区	399	73.7	19.0	7.3
福田小学校区	144	77.1	18.1	4.9
米田小学校区	92	70.7	25.0	4.3
三草小学校区	124	75.0	16.1	8.9
鴨川小学校区	37	75.7	24.3	-
滝野東小学校区	263	76.0	20.2	3.8
滝野南小学校区	121	75.2	21.5	3.3
東条東小学校区	174	70.7	24.7	4.6
東条西小学校区	177	77.4	19.8	2.8

8 15分位続けて歩いていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	76.8	17.1	6.1
社小学校区	399	76.9	15.8	7.3
福田小学校区	144	76.4	17.4	6.3
米田小学校区	92	76.1	19.6	4.3
三草小学校区	124	70.2	16.1	13.7
鴨川小学校区	37	70.3	27.0	2.7
滝野東小学校区	263	79.1	16.3	4.6
滝野南小学校区	121	82.6	14.0	3.3
東条東小学校区	174	73.6	21.3	5.2
東条西小学校区	177	79.1	17.5	3.4

9 この一年間に転んだことはありますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	20.6	73.4	6.0
社小学校区	399	19.5	74.7	5.8
福田小学校区	144	22.2	69.4	8.3
米田小学校区	92	19.6	72.8	7.6
三草小学校区	124	23.4	69.4	7.3
鴨川小学校区	37	27.0	73.0	-
滝野東小学校区	263	19.4	74.9	5.7
滝野南小学校区	121	24.0	73.6	2.5
東条東小学校区	174	23.6	70.1	6.3
東条西小学校区	177	16.4	78.0	5.6

10 転倒に対する不安は大きいですか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	34.2	57.5	8.3
社小学校区	399	32.1	58.9	9.0
福田小学校区	144	34.0	57.6	8.3
米田小学校区	92	39.1	51.1	9.8
三草小学校区	124	34.7	55.6	9.7
鴨川小学校区	37	35.1	62.2	2.7
滝野東小学校区	263	32.3	58.6	9.1
滝野南小学校区	121	33.9	62.0	4.1
東条東小学校区	174	35.6	54.6	9.8
東条西小学校区	177	37.3	57.6	5.1

11 半年間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	14.2	80.6	5.2
社小学校区	399	14.0	79.9	6.0
福田小学校区	144	18.8	75.0	6.3
米田小学校区	92	18.5	71.7	9.8
三草小学校区	124	14.5	79.0	6.5
鴨川小学校区	37	13.5	83.8	2.7
滝野東小学校区	263	12.9	84.0	3.0
滝野南小学校区	121	14.0	81.8	4.1
東条東小学校区	174	13.2	83.3	3.4
東条西小学校区	177	12.4	82.5	5.1

12 BMI

	有効回答数	やせ	標準	肥満	無回答
全 体	1563	6.6	66.0	18.8	8.6
社小学校区	399	4.5	61.9	23.3	10.3
福田小学校区	144	6.3	61.8	21.5	10.4
米田小学校区	92	12.0	66.3	12.0	9.8
三草小学校区	124	5.6	71.8	12.9	9.7
鴨川小学校区	37	2.7	70.3	16.2	10.8
滝野東小学校区	263	8.4	69.6	17.5	4.6
滝野南小学校区	121	9.1	69.4	15.7	5.8
東条東小学校区	174	7.5	64.4	20.7	7.5
東条西小学校区	177	6.2	68.4	15.8	9.6

13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	30.2	66.9	2.9
社小学校区	399	28.8	66.9	4.3
福田小学校区	144	34.0	63.2	2.8
米田小学校区	92	30.4	65.2	4.3
三草小学校区	124	32.3	65.3	2.4
鴨川小学校区	37	29.7	70.3	-
滝野東小学校区	263	32.7	65.8	1.5
滝野南小学校区	121	29.8	68.6	1.7
東条東小学校区	174	31.0	67.8	1.1
東条西小学校区	177	26.0	70.6	3.4

14 お茶や汁物等でむせることがありますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	17.1	79.7	3.3
社小学校区	399	14.5	81.2	4.3
福田小学校区	144	17.4	77.8	4.9
米田小学校区	92	15.2	80.4	4.3
三草小学校区	124	18.5	80.6	0.8
鴨川小学校区	37	8.1	91.9	-
滝野東小学校区	263	20.5	76.8	2.7
滝野南小学校区	121	15.7	84.3	-
東条東小学校区	174	21.8	75.9	2.3
東条西小学校区	177	16.4	79.7	4.0

15 口の渇きが気になりますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	20.1	75.0	4.9
社小学校区	399	18.5	75.9	5.5
福田小学校区	144	21.5	72.2	6.3
米田小学校区	92	20.7	75.0	4.3
三草小学校区	124	18.5	76.6	4.8
鴨川小学校区	37	21.6	78.4	-
滝野東小学校区	263	22.1	73.8	4.2
滝野南小学校区	121	16.5	81.8	1.7
東条東小学校区	174	27.0	69.5	3.4
東条西小学校区	177	15.8	78.5	5.6

16 外出頻度

	有効回答数	週に1回以上外出している	週に1回以上外出していない	無回答
全 体	1563	91.9	2.2	5.8
社小学校区	399	90.0	2.0	8.0
福田小学校区	144	93.1	1.4	5.6
米田小学校区	92	93.5	-	6.5
三草小学校区	124	91.9	3.2	4.8
鴨川小学校区	37	89.2	5.4	5.4
滝野東小学校区	263	94.3	1.5	4.2
滝野南小学校区	121	93.4	2.5	4.1
東条東小学校区	174	92.0	2.3	5.7
東条西小学校区	177	91.0	4.0	5.1

17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	31.6	62.6	5.8
社小学校区	399	32.1	61.2	6.8
福田小学校区	144	28.5	66.0	5.6
米田小学校区	92	29.3	65.2	5.4
三草小学校区	124	33.1	57.3	9.7
鴨川小学校区	37	29.7	64.9	5.4
滝野東小学校区	263	27.4	67.3	5.3
滝野南小学校区	121	32.2	63.6	4.1
東条東小学校区	174	36.2	59.8	4.0
東条西小学校区	177	33.9	62.7	3.4

18 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	16.6	76.8	6.6
社小学校区	399	16.8	76.4	6.8
福田小学校区	144	20.1	72.2	7.6
米田小学校区	92	21.7	71.7	6.5
三草小学校区	124	12.1	79.0	8.9
鴨川小学校区	37	10.8	89.2	-
滝野東小学校区	263	14.8	77.6	7.6
滝野南小学校区	121	14.0	82.6	3.3
東条東小学校区	174	17.8	75.3	6.9
東条西小学校区	177	16.4	79.7	4.0

19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	84.7	11.5	3.8
社小学校区	399	85.5	10.5	4.0
福田小学校区	144	86.8	9.7	3.5
米田小学校区	92	85.9	13.0	1.1
三草小学校区	124	85.5	9.7	4.8
鴨川小学校区	37	81.1	16.2	2.7
滝野東小学校区	263	82.9	13.3	3.8
滝野南小学校区	121	90.1	8.3	1.7
東条東小学校区	174	82.8	11.5	5.7
東条西小学校区	177	81.9	15.3	2.8

20 今日が何月何日かわからない時がありますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	20.9	74.7	4.5
社小学校区	399	24.1	71.9	4.0
福田小学校区	144	16.7	76.4	6.9
米田小学校区	92	18.5	78.3	3.3
三草小学校区	124	26.6	66.9	6.5
鴨川小学校区	37	16.2	81.1	2.7
滝野東小学校区	263	16.7	78.7	4.6
滝野南小学校区	121	22.3	74.4	3.3
東条東小学校区	174	22.4	73.0	4.6
東条西小学校区	177	20.3	77.4	2.3

21 毎日の生活に充実感がないと感じますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	17.3	68.7	14.1
社小学校区	399	17.3	69.2	13.5
福田小学校区	144	21.5	64.6	13.9
米田小学校区	92	19.6	69.6	10.9
三草小学校区	124	17.7	63.7	18.5
鴨川小学校区	37	21.6	70.3	8.1
滝野東小学校区	263	16.0	71.5	12.5
滝野南小学校区	121	12.4	74.4	13.2
東条東小学校区	174	17.8	66.7	15.5
東条西小学校区	177	15.8	70.6	13.6

22 これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	19.4	67.1	13.6
社小学校区	399	18.3	67.7	14.0
福田小学校区	144	18.8	65.3	16.0
米田小学校区	92	20.7	69.6	9.8
三草小学校区	124	26.6	58.9	14.5
鴨川小学校区	37	21.6	67.6	10.8
滝野東小学校区	263	17.5	70.7	11.8
滝野南小学校区	121	16.5	71.1	12.4
東条東小学校区	174	21.3	64.4	14.4
東条西小学校区	177	16.9	71.2	11.9

23 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	43.6	45.2	11.1
社小学校区	399	42.9	45.1	12.0
福田小学校区	144	43.8	43.8	12.5
米田小学校区	92	51.1	43.5	5.4
三草小学校区	124	43.5	40.3	16.1
鴨川小学校区	37	40.5	51.4	8.1
滝野東小学校区	263	41.4	49.4	9.1
滝野南小学校区	121	43.0	47.1	9.9
東条東小学校区	174	49.4	40.2	10.3
東条西小学校区	177	39.5	49.7	10.7

24 自分が役に立たない人間だと思われませんか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	10.0	75.9	14.0
社小学校区	399	8.3	77.7	14.0
福田小学校区	144	13.2	70.1	16.7
米田小学校区	92	10.9	79.3	9.8
三草小学校区	124	14.5	66.9	18.5
鴨川小学校区	37	18.9	70.3	10.8
滝野東小学校区	263	8.4	79.5	12.2
滝野南小学校区	121	7.4	79.3	13.2
東条東小学校区	174	11.5	75.3	13.2
東条西小学校区	177	7.3	79.7	13.0

25 わけもなく疲れたような感じがしますか

	有効回答数	はい	いいえ	無回答
全 体	1563	25.3	61.7	12.9
社小学校区	399	24.1	62.2	13.8
福田小学校区	144	22.2	61.1	16.7
米田小学校区	92	25.0	64.1	10.9
三草小学校区	124	25.8	58.1	16.1
鴨川小学校区	37	21.6	64.9	13.5
滝野東小学校区	263	23.2	66.5	10.3
滝野南小学校区	121	29.8	59.5	10.7
東条東小学校区	174	31.6	56.9	11.5
東条西小学校区	177	24.9	64.4	10.7

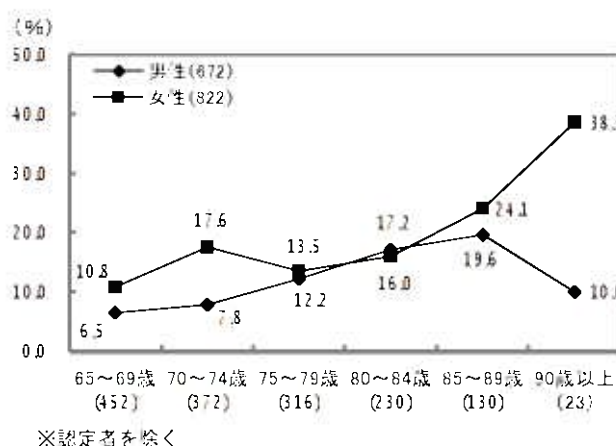
3 評価項目別の結果

(1) 運動器

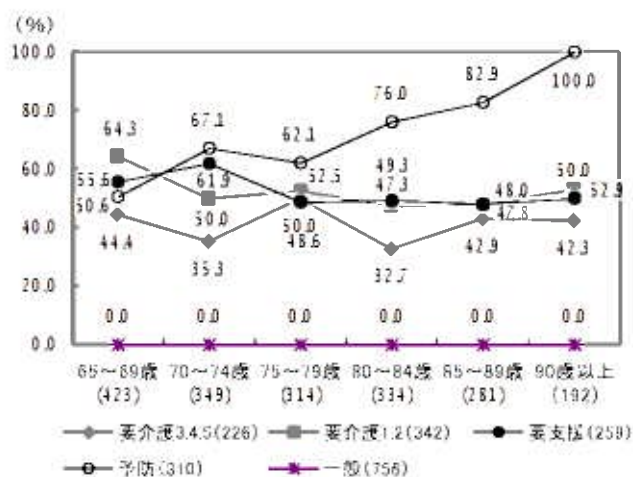
- ・性・年齢階級別にみると、女性では、男性に比べ該当者割合が高い傾向にあり、特に85歳から該当者が増加しています。一方、男性では、該当者が徐々に増加する傾向にあります。男性に比べ女性では、運動器におけるリスクは若い段階から顕在化しています。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、二次予防対象者については、80歳～84歳を境に13.9ポイント上昇しており、後期高齢者となるとリスクが高くなることがうかがえます。
- ・小学校区別でみると、東条西で該当者割合が、他の小学校区に比べやや低くなっています。

図表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

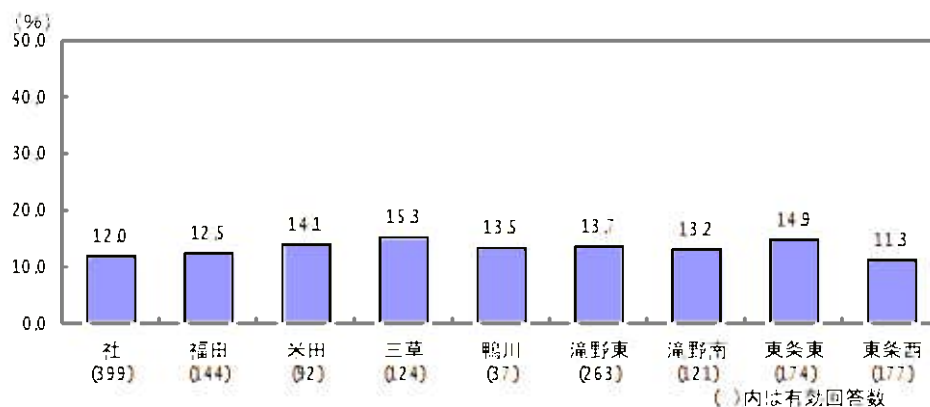
【性・年齢階級別】



【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】

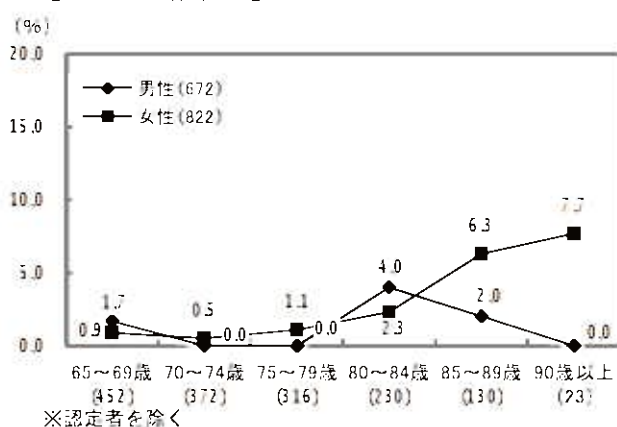


(2) 閉じこもり

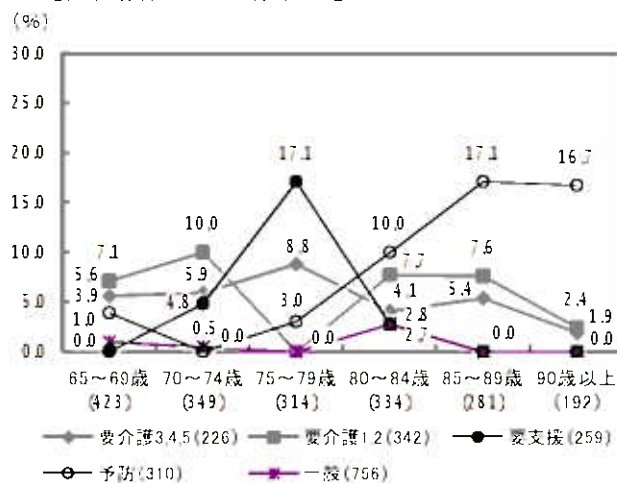
- ・性・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で男性に比べ該当者割合が高くなっています。女性は75歳以上で外出の頻度が徐々に減少していることがうかがえます。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、二次予防対象者では、80歳～84歳を境に増加しており、外出の機会が減少しています。
- ・小学校区別でみると、鴨川で該当者割合が最も高くなっています。

図表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

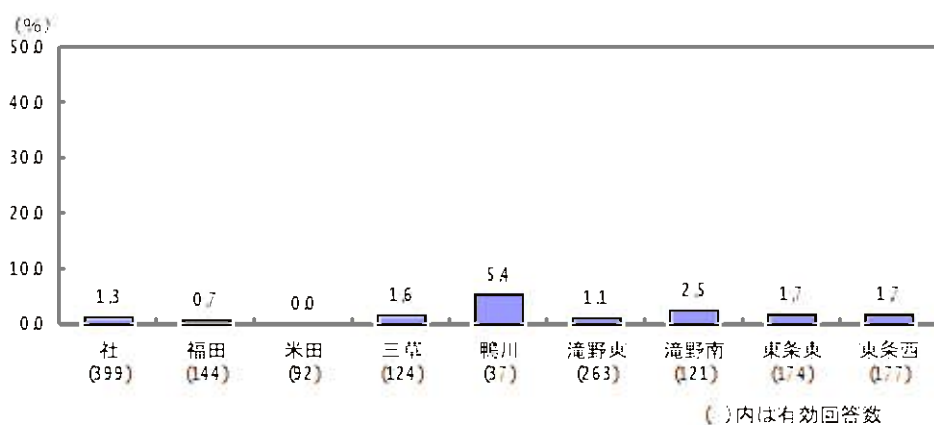
【性・年齢階級別】



【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】

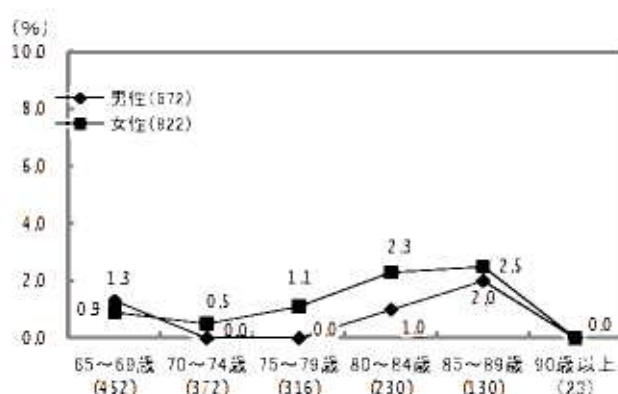


(3) 栄養

- ・性・年齢階級別にみると、女性では、75歳～84歳で男性に比べ該当者割合がやや高くなっています。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、該当者割合は、要介護認定者で65歳～69歳、85～89歳で該当者が多くなっており、二次予防対象者においても要介護者と同程度の低栄養のリスクがあることがうかがえます。
- ・小学校区別でみると、滝野南、滝野東、福田で該当者割合がやや高くなっています。

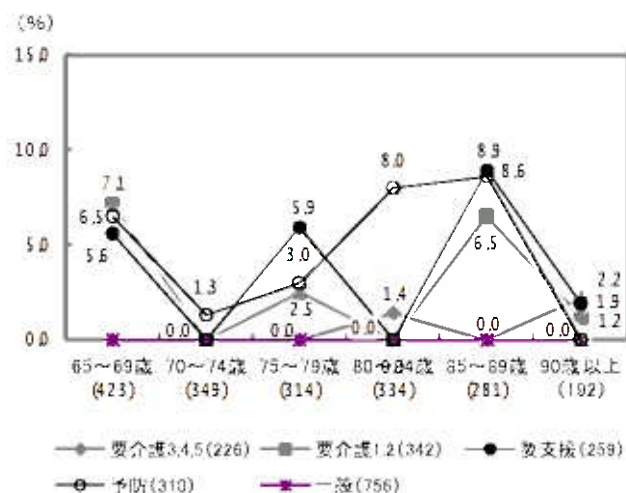
図表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

【性・年齢階級別】

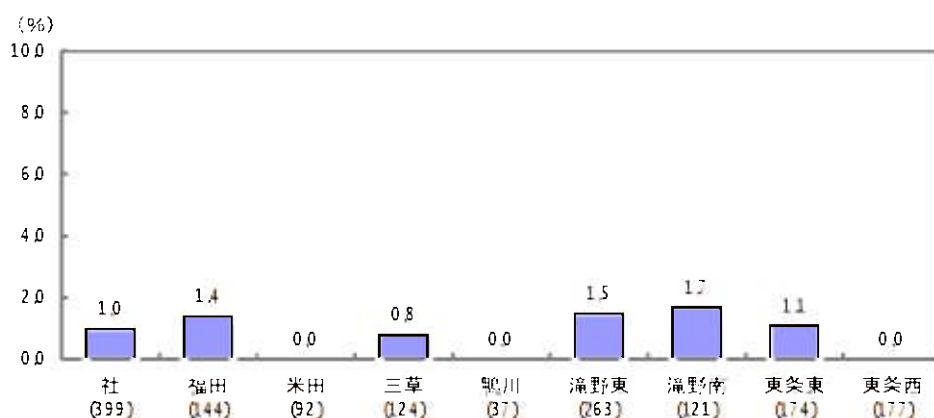


※認定者を除く

【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】



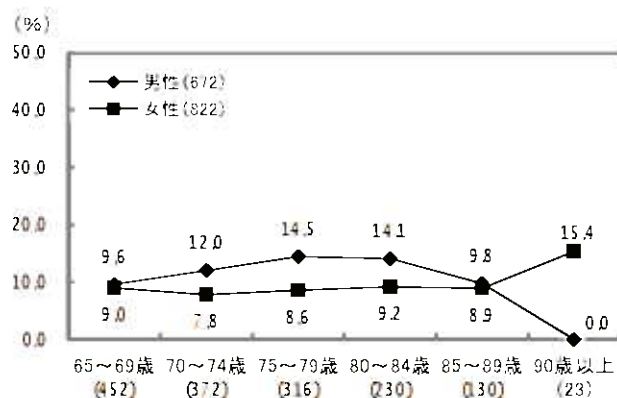
()内は有効回答数

(4) 口腔

- ・性・年齢階級別にみると、女性に比べ男性の該当者割合が高い傾向があり、75歳～84歳で多くなっています。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、該当者割合は、二次予防対象者では、65歳～69歳の該当者割合が高くなっており、前期高齢者での口腔によるリスクが高くなっています。要介護1,2認定者では、85歳以上で、該当者割合が高くなっており、年齢が高くなるにつれ、口腔によるリスクが高くなっていることがうかがえます。
- ・小学校区別でみると、東条西が、他の小学校区に比べ低くなっています。

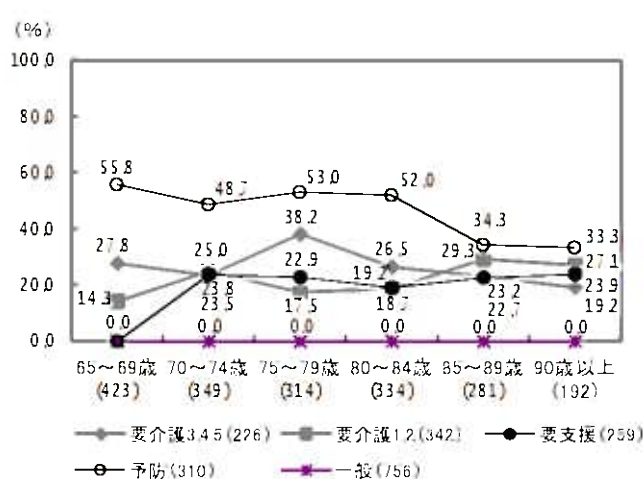
図表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

【性・年齢階級別】

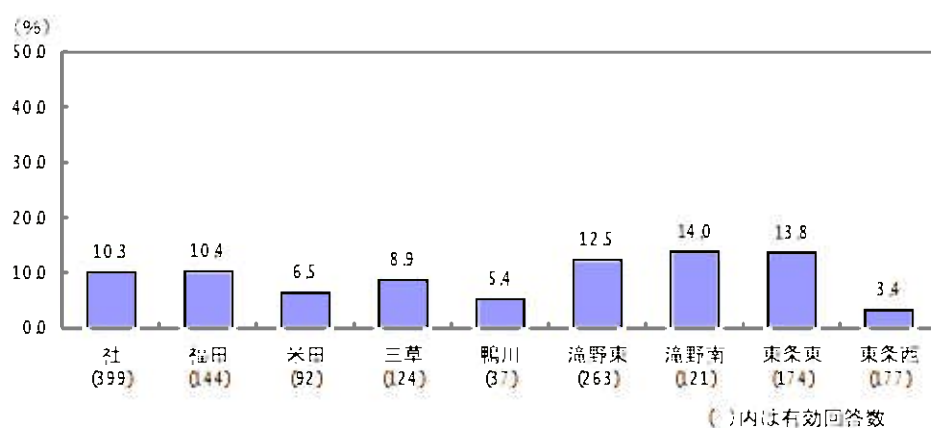


※認定者を除く

【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】



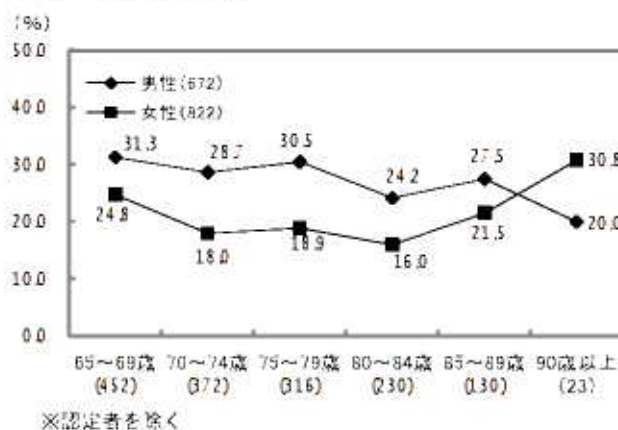
()内は有効回答数

(5) 認知

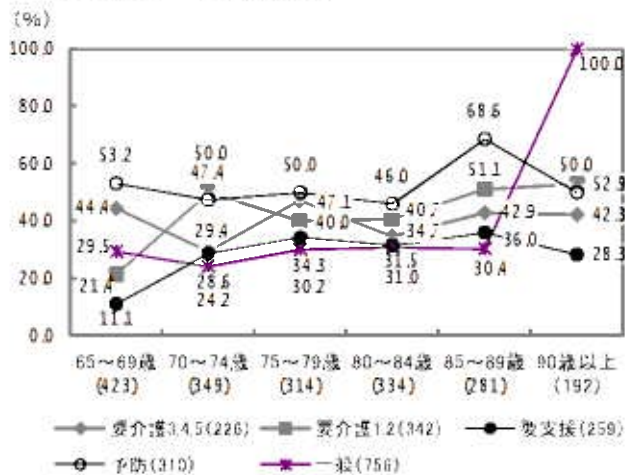
- ・性・年齢階級別にみると、女性に比べ男性で該当者割合が高い傾向にあり、特に65歳から79歳にかけては、該当者割合が約3割と高くなっています。女性の80～84歳と85歳以上では5.5ポイントと上昇しており、女性では85歳以上になると認知面の機能低下に関する該当者が多くなっています。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、二次予防対象者では85～89歳を境に22.6ポイントと急激に上昇し、認知面の機能低下に関するリスクが高くなっています。
- ・小学校区別でみると、三草で該当者の割合が、他の小学校区に比べやや低くなっています。

図表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

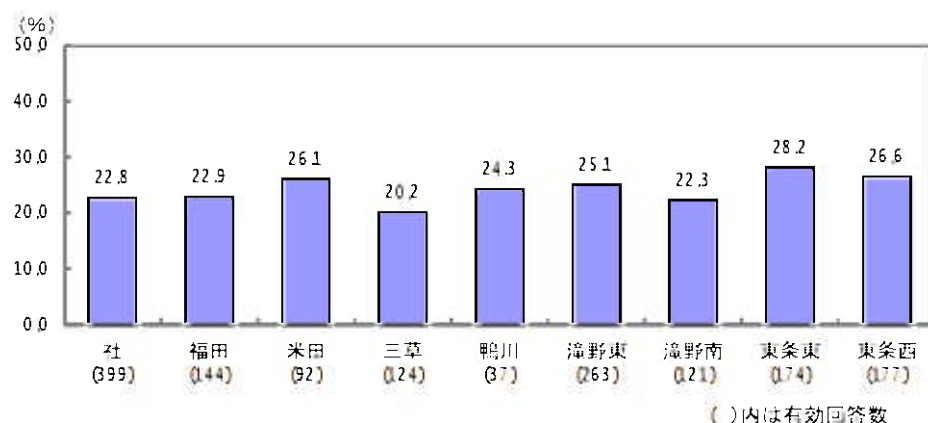
【性・年齢階級別】



【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】

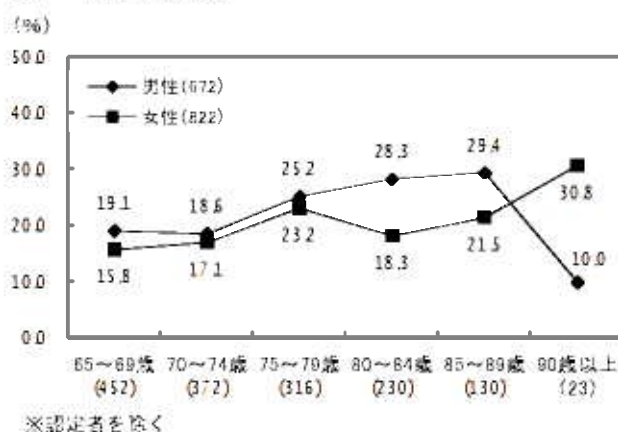


(6) うつ

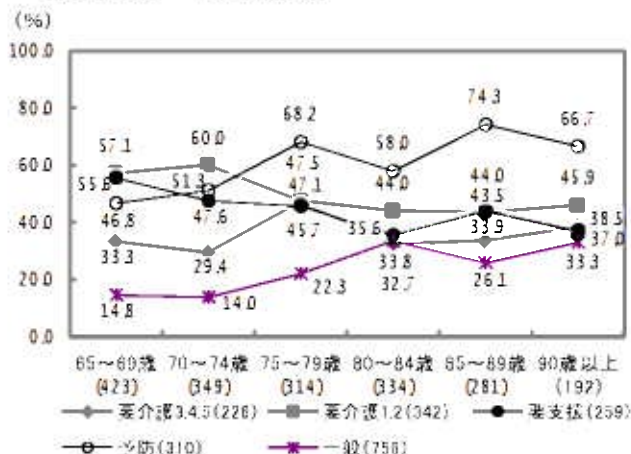
- ・性・年齢階級別にみると、80歳～89歳において、女性に比べ男性で該当者割合が高い傾向にあり、また、年齢が高くなるにつれて上昇しており、男性の後期高齢者においてリスクが高くなることがうかがえます。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、一般高齢者においても、年齢が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向が見られます。また、二次予防対象者の75歳以上では該当者割合が6割以上高くなっており、生きがいなど心の健康面が悪化していることがうかがえます。
- ・小学校区別でみると、東条東で該当者の割合が約3割と、他の小学校区に比べ高くなっています。

表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

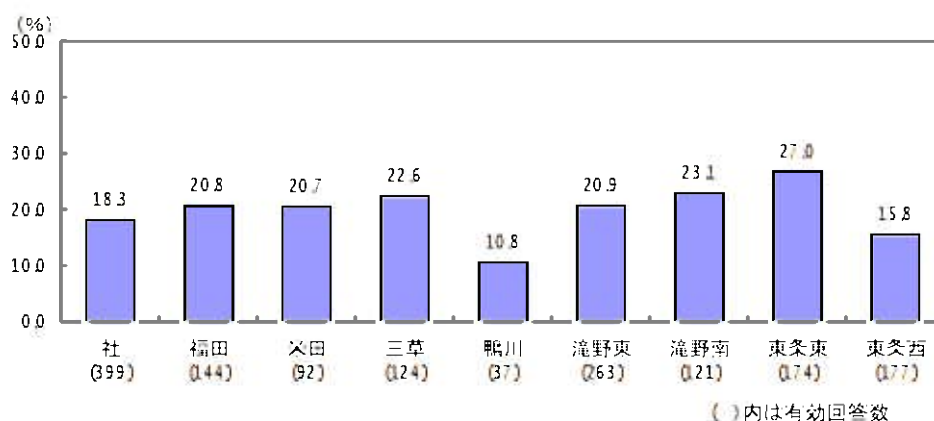
【性・年齢階級別】



【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】

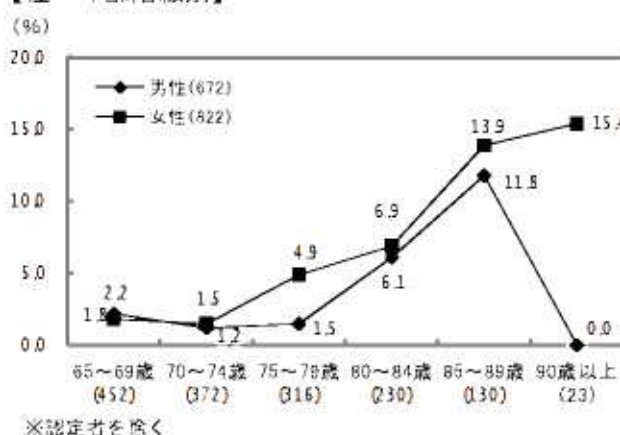


(7) 虚弱

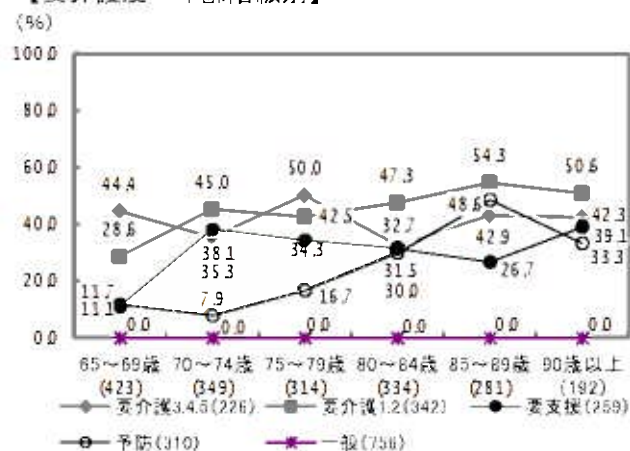
- ・性・年齢階級別にみると、男性、女性ともに85歳～89歳で該当者割合が急激に上昇しており、85歳以上となると運動器など一部に特化することなく、全体的に身体機能が低下し、虚弱状態となっています。
- ・要介護度・年齢階級別にみると、二次予防対象者では、80歳～84歳で虚弱の該当者割合が急激に上昇しており、要支援認定者と同等となっています。
- ・小学校区別でみると、滝野南、三草で該当者割合がやや高くなっており、一方、東条西では低くなっています。

図表 該当者割合（性・年齢階級別、要介護度・年齢階級別、小学校区別）

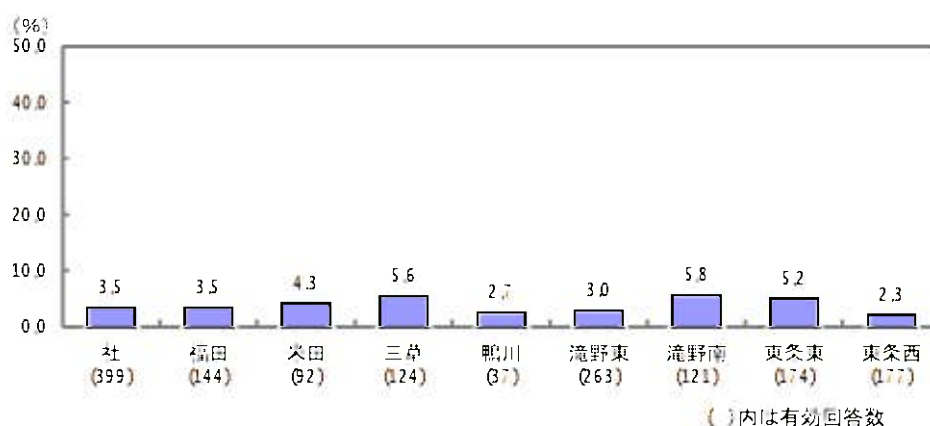
【性・年齢階級別】



【要介護度・年齢階級別】



【小学校区別】



第3章 調査結果からみる6期計画に向けた課題

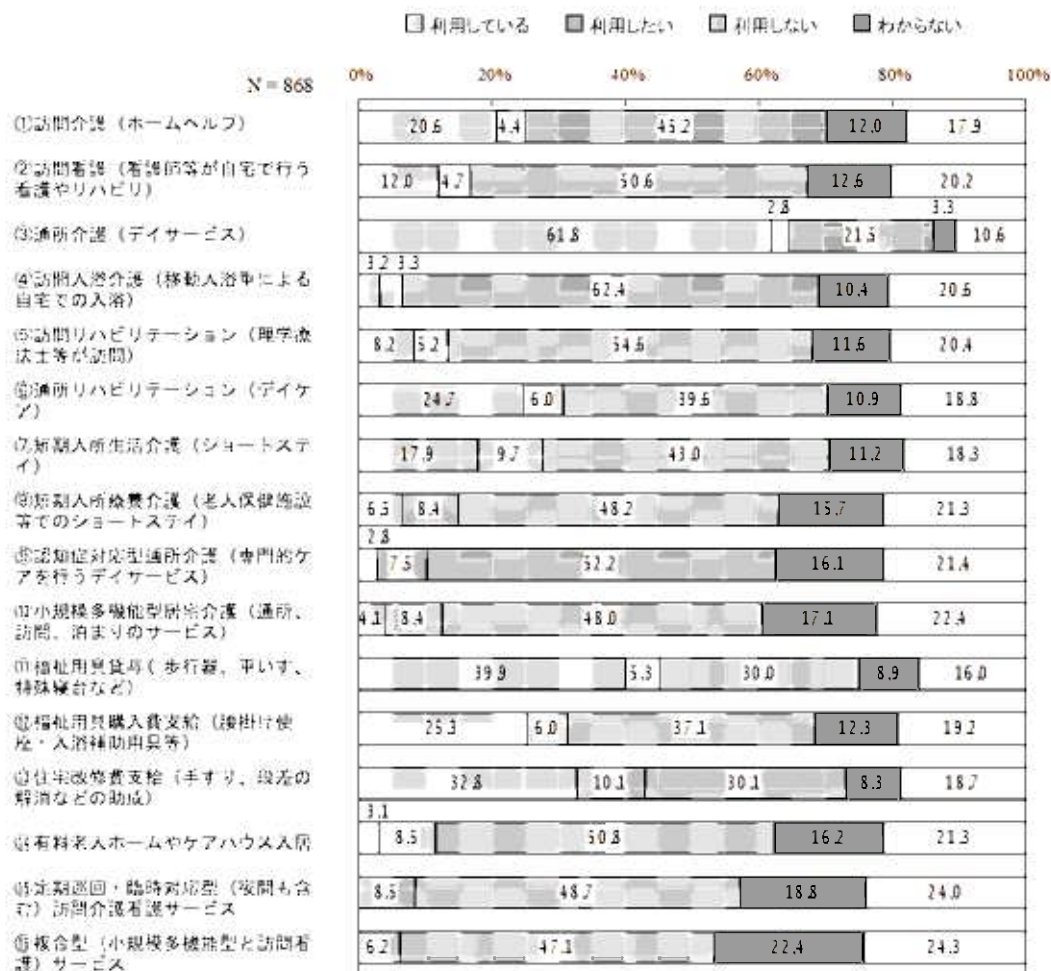
1 在宅生活を支えるサービスや体制の充実

○次期計画では、制度改正により介護予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護のサービスが地域支援事業へ移行します。そのために既存の高齢者福祉サービスの見直しを含め、地域支援事業としてのサービス提供の体制を整える必要があります。要支援認定者の介護保険サービスの利用状況では、「通所介護（デイサービス）」が61.8%と最も高く、地域支援事業へ移行しても引き続き利用意向が高いことが予想されます。そのため、介護予防給付に代わる支援を可能とするサービスの量的、質的な確保が出来るかどうか実態を把握する必要があります。

【要介護認定者調査】

問25 あなたは現在、介護（予防）サービス等を利用していますか。（それぞれ1つに○）

「③通所介護（デイサービス）」において、「利用している」の割合が61.8%と高くなっています。

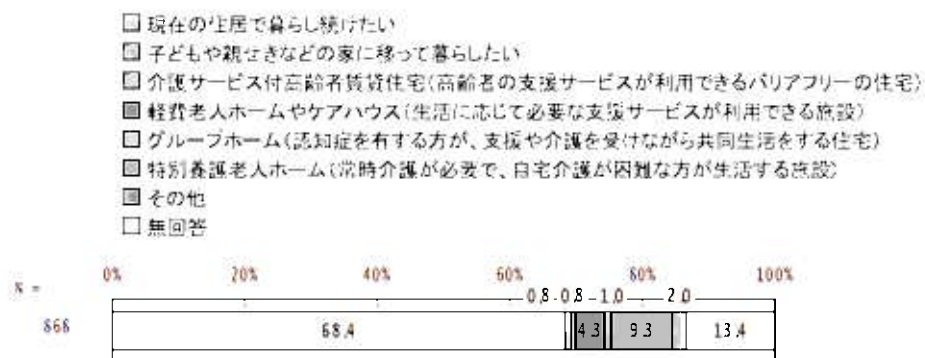


○要介護者の今後の住まいの意向について「現在の住居で暮らし続けたい」の割合が68.4%と最も高く、高齢者の多くは介護が必要となった場合も、引き続き在宅での生活を希望しています。要介護者の病院・医院への通院状況をみると、「通院している」の割合が78.8%と最も高く、医療との関わりを必要としている高齢者が大半であり、適切な介護サービスを利用しながら地域で暮らし続けられるためには、医療と介護の連携強化は重要な課題となります。

【要介護認定者調査】

問 30 あなたは、今後の住まいについてどのようにお考えですか。（1つに○）

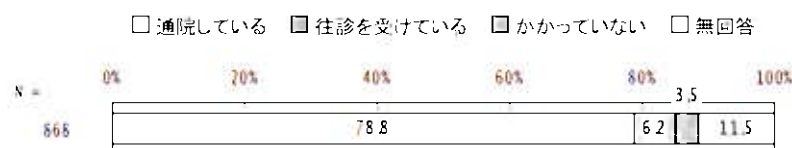
「現在の住居で暮らし続けたい」の割合が68.4%と最も高くなっています。



【要介護認定者調査】

問 11 現在、病院・医院（診療所やクリニック）にかかっていますか。（1つに○）

「通院している」の割合が78.8%と最も高くなっています。



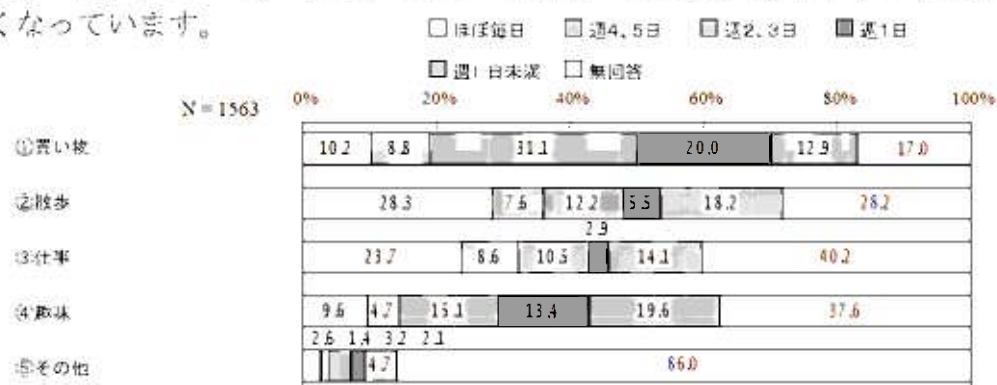
2 高齢者の生活支援

○一般高齢者の買い物の外出頻度をみると、「週2、3日」の割合が31.1%、「週1日」の割合が20.0%となっています。そのような中、外出する際の移動手段は「自分で運転する車」の割合が61.5%と最も高くなっており、加齢に伴って車の運転が困難になると、外出機会が減少することで閉じこもりがちとなり、そこから認知症や要介護状態につながるリスクが高くなることが考えられます。また、日常の買い物や通院が困難になる高齢者も増えることが考えられるため、高齢者の外出や買い物、通院などを支援していく必要があります。

【一般高齢者調査】

問16 外出頻度について、目的別にお答えください。（それぞれ○は1つ）

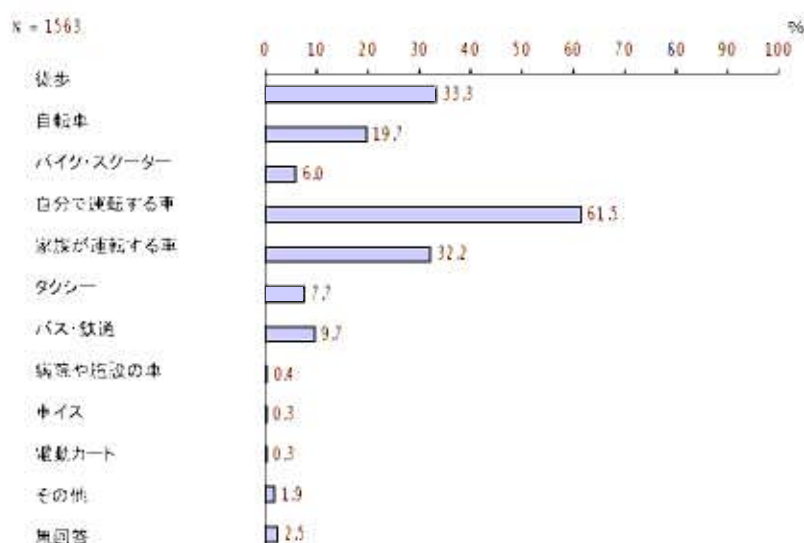
「①買い物」において、「週2、3日」の割合が31.1%、「週1日」の割合が20.0%、と高くなっています。



【一般高齢者調査】

問17 外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

「自分で運転する車」の割合が61.5%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が33.3%、「家族が運転する車」の割合が32.2%となっています。



○これからの加東市において、特に重要になると思われる施策として、要介護者では「買い物支援、宅配、給食・配食サービスなど食を支えるサービス」の割合が 35.9%と最も高く、一般高齢者でも 27.6%と上位になっています。日用品の買い物をする事ができない高齢者は市全体が 8.4%となっているのに対し、米田小学校区では 15.2%と高く、こうした支援の必要性の高さがうかがえます。また、ひとり暮らしや高齢世帯の方は給食サービスの利用希望について、福田小学校区、滝野南小学校区で「利用したい」の割合が高くなっています。交通の便や商店等の地域性などを背景にニーズが高くなっている地域を中心に、買い物の支援を始めとする生活支援の充実を図っていくことが求められます。

**問 33 これからの加東市において、特に重要になると思われる施策は何ですか
(5つまでに○)**

一般高齢者では「高齢者のいきがいと活躍の場づくり（高齢者の雇用や社会参加の促進）」の割合が 32.8%と最も高く、要介護認定者では「買い物支援、宅配、給食・配食サービスなど食を支えるサービス」の割合が 35.9%と最も高くなっています。

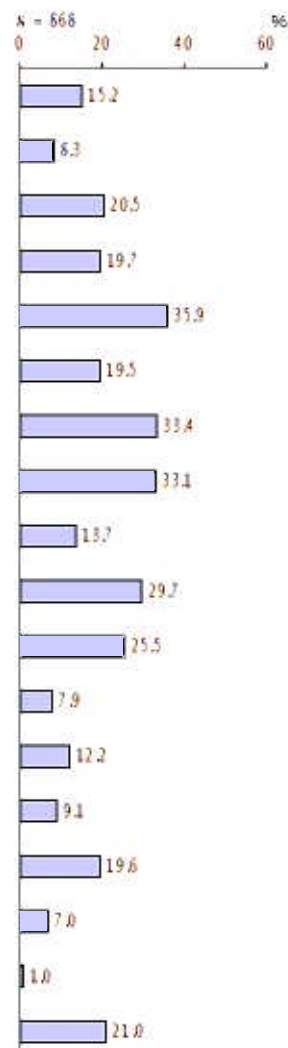
【一般高齢者調査】

N = 1563



【要介護認定者調査】

N = 668

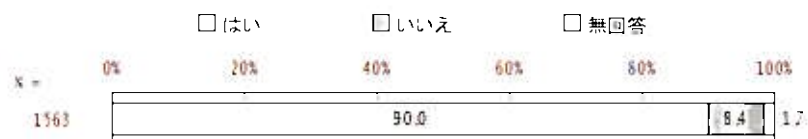


【一般高齢者調査】

問 20 日常生活に関する以下の項目についてお答えください。(それぞれどちらかに○)

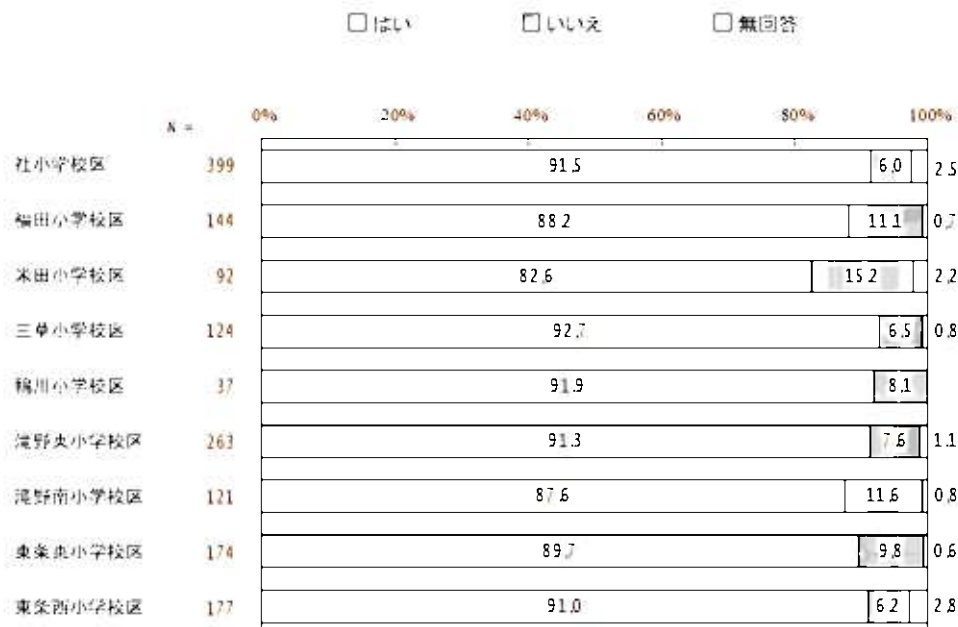
⑤日用品の買い物をすることができますか

「はい」の割合が 90.0%、「いいえ」の割合が 8.4%となっています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、他に比べ、福田小学校区、米田小学校区、滝野南小学校区で「いいえ」の割合が高く、1割を超えています。



【一般高齢者調査】

問 31-1 ひとり暮らしや高齢世帯の方は以下のサービスについて回答してください

「③急病や災害などの緊急時に速やかに消防署に連絡できる「緊急通報システム」貸し出しサービス」において、「利用したい」の割合が 22.7%と高くなっています。



①給食サービス【社会福祉協議会】見守りと健康増進のため、ボランティアによる調理と配食（週1～2回）

【小学校区別】

小学校区別にみると、他に比べ、福田小学校区、滝野南小学校区で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数（件）	利用している・したことがある	利用したい	利用しない	わからない	無回答
全 体	418	1.9	8.9	33.7	18.4	37.1
社小学校区	129	2.3	7.0	34.1	22.5	34.1
福田小学校区	32	6.3	15.6	21.9	12.5	43.8
米田小学校区	19	-	5.3	36.8	10.5	47.4
三草小学校区	36	-	8.3	44.4	16.7	30.6
鴨川小学校区	11	-	9.1	27.3	9.1	54.5
滝野東小学校区	82	-	6.1	39.0	15.9	39.0
滝野南小学校区	25	-	16.0	24.0	20.0	40.0
東条東小学校区	38	5.3	7.9	34.2	18.4	34.2
東条西小学校区	39	2.6	12.8	30.8	20.5	33.3

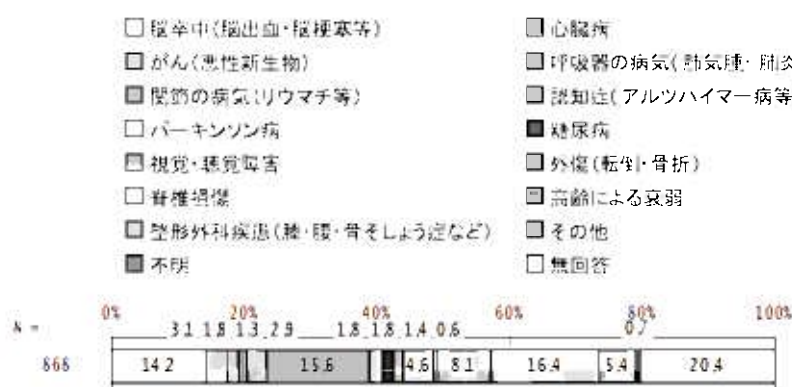
3 転倒・認知症予防に着目した介護予防の推進と認知症対策の推進

○要介護認定を受けた際の介護を必要とする状態になった主な原因をみると、「整形外科疾患（膝・腰・骨そしょう症など）」の割合が 16.4%と最も高く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が 15.6%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が 14.2%となっています。生活機能をみると、二次予防対象者においては、一般高齢者と比べると「口腔」、「運動器」に関して非該当者（リスクなし）の割合が約 40%と急激に低くなっており、運動器の機能低下が要介護状態につながる大きな要因の一つであることがうかがえます。要介護状態となることを予防していくために、転倒予防のための運動器の維持や認知症予防に着目した介護予防の推進が求められます。また、一般高齢者の「介護予防」の取り組み状況をみると、他の地域に比べ、東条東小学校区で「特にしていない」の割合が高く、取り組み状況に地域差が見られ、こうした介護予防の取り組み状況の地域差を解消していくことも重要となります。

【要介護認定者調査】

問 10 あなたが認定を受ける原因となった主な病気等は次のうちどれですか。
(1つに○)

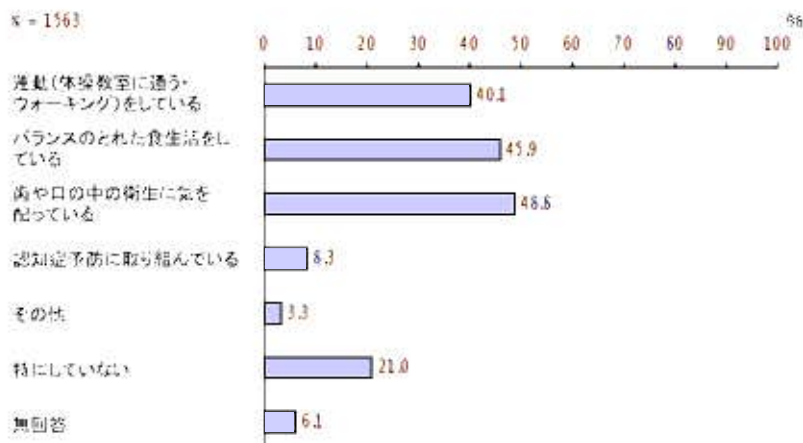
「整形外科疾患（膝・腰・骨そしょう症など）」の割合が 16.4%と最も高く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が 15.6%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が 14.2%となっています。



【一般高齢者調査】

問 29 あなたは、「介護予防」の取り組みをしていますか。(あてはまるもの全てに○)

「歯や口の中の衛生に気を配っている」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「バランスのとれた食生活をしている」の割合が 45.9%、「運動(体操教室に通う・ウォーキング)をしている」の割合が 40.1%となっています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、他に比べ、東条東小学校区で「特にしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	運動(体操教室に通う・ウォーキング)をしている	バランスのとれた食生活をしている	歯や口の中の衛生に気を配っている	認知症予防に取り組んでいる	その他	特にしていない	無回答
全 体	1563	40.1	45.9	48.8	8.3	3.3	21.0	6.1
社小学校区	399	39.6	45.4	48.1	8.3	3.3	22.8	7.0
福田小学校区	144	41.7	38.2	52.8	8.3	4.2	19.4	4.9
米田小学校区	92	34.8	47.8	51.1	13.0	4.3	12.0	13.0
三草小学校区	124	35.5	38.7	46.8	6.5	3.2	23.4	5.6
鴨川小学校区	37	37.8	45.9	51.4	8.1	-	21.6	5.4
滝野東小学校区	263	46.4	49.4	44.5	6.1	2.3	19.8	5.3
滝野南小学校区	121	43.0	50.4	52.9	8.3	4.1	17.4	7.4
東条東小学校区	174	40.8	43.1	49.4	6.3	3.4	26.4	2.9
東条西小学校区	177	35.0	51.4	50.8	11.9	4.0	20.9	4.5

○認知症に関する支援策として、「認知症の早期発見、早期対応に対する取り組み」の割合が 54.1%と最も高く、早期診断する仕組みづくりが求められており、家族など身近な人の適切な気づきを促すとともに、かかりつけ医との連携や認知症サポート医の協力のもと、専門医療機関へとつながるネットワークの強化が求められます。

【一般高齢者調査】

問 32 高齢化の進展により、認知症を有する人も増加しています。安心して、暮らせるために加東市では、どのような施策に優先的に取り組む必要があると思いますか（3つに○）

「認知症の早期発見、早期対応に対する取り組み」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「誰もが気軽に参加でき、集う場である「認知症（予防）カフェ」の実施」の割合が 36.0%、「認知症の人と家族を支え見守るネットワークづくり対策」の割合が 28.5%となっています。



4 家族介護者のケアの充実

○少子高齢化や核家族化の進展による影響によって、一人暮らし高齢者世帯や高齢者夫婦世帯が増加しており、その影響として介護者の約半分以上が65歳以上となっています。介護を行う上で困っていることとして、「精神的に疲れる」の割合が55.4%と最も高く、次いで「肉体的に疲れる」の割合が34.3%となっており、在宅で介護を維持していくためには、介護者の負担感の改善が必要とされており、適切な介護サービスの利用の促進や介護者同士の交流の場による精神的なケアが重要になってきます。

【要介護認定者調査】（介護者への設問）

問 36 平成25年12月1日現在のご本人の年齢（区分）を教えてください。（1つに○）

「40～64歳」の割合が43.3%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が12.7%となっています。



【要介護認定者調査】（介護者への設問）

問 39 あなたは、介護するうえで困っていることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

「精神的に疲れる」の割合が55.4%と最も高く、次いで「肉体的に疲れる」の割合が34.3%、「経済的負担が大きい」の割合が20.0%となっています。

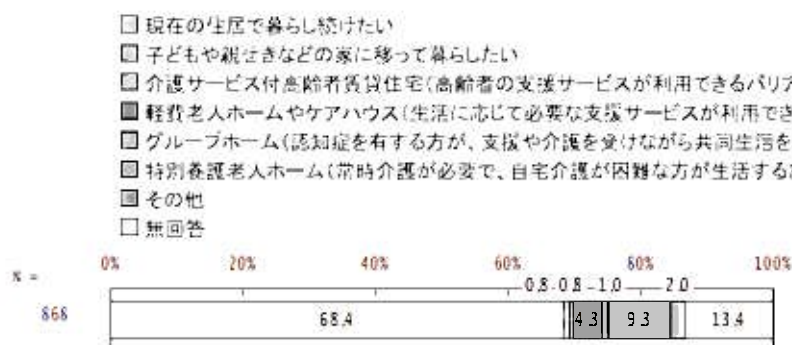


○要介護者の多くが、今後も在宅での介護を希望している中、家族介護者が社会との交流を維持する機会や家族介護者同士の共感の場の創出を図り、家族介護者及び要介護者の安定的かつ安心できる在宅生活を推進していくことが重要となります。

【要介護認定者調査】

問 30 あなたは、今後の住まいについてどのようにお考えですか。（1つに○）

「現在の住居で暮らし続けたい」の割合が 68.4%と最も高くなっています。



○また、介護する上で困ったときの相談相手としては、「ケアマネジャーなど」の割合が 69.3%と最も高く、介護の相談相手としてケアマネジャーの対応が重要なものとなっています。

【要介護認定者調査】

問 40 あなたは、何かあったときに相談する相手を、家族や友人・知人以外で教えてください。（あてはまるもの全てに○）

「ケアマネジャーなど」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 34.7%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が 19.6%となっています。

